

サービス名	自己	外部	項目	意見有	意見有りの対応
認知症対応型共同生活介護	2	(2)	○事業所と地域とのつきあい	2(2)自治会の住民を対象にAEDを使用した救命救急の講座を実施した。→自治会の住民を対象に、10月20日に認知症サポーター養成講座を開催決定。に変更希望。(AEDを使用した救命救急の実技講座は職員に6月11日に実施している。)	2(2)自治会の住民を対象にAEDを使用した救命救急の講座を実施した。→自治会の住民を対象に、10月に認知症サポーター養成講座を開催することを決定している。 に変更
認知症対応型共同生活介護	2	(2)	○事業所と地域とのつきあい	自己2 外部(2)「事業所は地域から離れ、入居者と地域住民等の交流が厳しい環境ながら、法人として自治会加入、市の高齢者相談センターの委託を受ける等で行事や福祉ニーズを把握し、事業所と地域を繋げている。…」→『法人として自治会加入』とされていますが自治会の加入は個人での加入となりますので法人としての加入はありません。自治会への加入は有りませんが、地域の自治会とは常に連携し協力体制を構築しています。	自己2 外部(2) 「法人として自治会加入」を削除して自治会への加入はありませんが、地域の自治会とは常に連携し協力体制を構築しています。を、追加記入。
認知症対応型共同生活介護	11	(7)	○運営に関する職員意見の反映	11→外部評価の次のステップに向けて期待したい内容の「職員が他の利用者を支援している明け方の時間帯に転倒事故が頻回に」の部分を「職員が他の利用者を支援している時間帯に発生している事が多い」に訂正希望。	11→外部評価の次のステップに向けて期待したい内容の「職員が他の利用者を支援している明け方の時間帯に転倒事故が頻回に」の部分を「職員が他の利用者を支援している時間帯に発生している事が多い」に訂正。
認知症対応型共同生活介護	4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み	4(3)「定期的な開催は実施されているが、家族の参加が見られない」の部分を「定期的な開催は実施されているが家族の参加が少ない」に訂正希望。	4(3)「定期的な開催は実施されているが、家族の参加が見られない」の部分を「定期的な開催は実施されているが家族の参加が少ない」に訂正。
認知症対応型共同生活介護	6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践	6(5)→外部評価(実践状況)で、エレベーターの鍵の部分を「エレベーターの押しボタンのカバー」へ訂正希望。「身体拘束についての勉強会を月1回実施し、法人の勉強会等の議題に提案する等理解や共有がされている。」の部分を「身体拘束について定期的に勉強会を行い、法人の勉強会への参加もしている」へ訂正希望。	6(5)エレベーターの鍵の部分を「エレベーターの押しボタンのカバー」へ訂正。 「身体拘束についての勉強会を月1回実施し、法人の勉強会等の議題に提案する等理解や共有がされている。」の部分を「身体拘束について定期的に勉強会を行い、法人の勉強会への参加もしている」へ訂正。
認知症対応型共同生活介護	11	(7)	○運営に関する職員意見の反映	11→外部評価の次のステップに向けて期待したい内容の「職員が他の利用者を支援している明け方の時間帯に転倒事故が頻回に」の部分を「職員が他の利用者を支援している時間帯に発生している事が多い」に訂正希望。	11→外部評価の次のステップに向けて期待したい内容の「職員が他の利用者を支援している明け方の時間帯に転倒事故が頻回に」の部分を「職員が他の利用者を支援している時間帯に発生している事が多い」に訂正。
小規模多機能型居宅介護			別紙4『外部評価で確認した事業所の優れている点工夫点』	別紙4『外部評価で確認した事業所の優れている点工夫点』での調整をお願いします。 ・『専属の』と言う部分が常勤と受け取られてしまうので、省いて頂いて欲しい。 ・『介護支援専門員も2名体制』でゆとりのある支援の部分ですが、常勤で2名配属していると誤解されるので省いて欲しい。1名はあくまで補助です。 『前任の介護支援専門員も常に相談支援する体制でゆとりのある支援をしている』等調整をお願いします。(チームでつくる介護計画とモニタリング、部分の訂正もお願いします。)	訂正前:『当事業所は・・・又専属の理学療法士や看護師、そして介護支援専門員も2名体制でゆとりのある支援をしている。・・・』 訂正後:『当事業所は・・・又、理学療法士や看護師、そして前任の介護支援専門員も常に相談支援する体制でゆとりのある支援をしている。・・・』